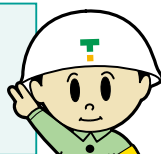


検査員の現場報告1



樹木接触により停電発生！

酒田事業所 佐藤 将人

高圧設備に樹木が接触したことにより停電した事例をご紹介します。

〔状況〕

10月上旬の9時40分過ぎ、お客さまから電気事故受付センターに「構内が停電している」との連絡を受け出動しました。出動前に電話連絡をして確認したところ、「電灯回路及び動力回路がすべて停電している」とのことから、高圧事故も考えられたため2名で出動しました。

〔調査〕

約1時間後に現場に到着し、受電柱を確認したところ、地絡継電器が地絡動作して高圧気中開閉器が開放していました。キュービクルに移動し安全措置のうえ絶縁抵抗測定したところ、値が0メガオームで絶縁不良を示していました。キュービクル内の高圧機器を目視点検しましたが、異常は見当たりませんでした。次に、キュービクルから山中を走る構内の高圧架空電線を目視点検したところ、構内電柱につる草が支線から伸びて、高圧ピン碍子及び高圧電線に絡んでいる箇所を発見しました。「原因はこれかも」と思いました。

〔原因〕

電柱の支線から伸びたつる草が高圧ピン碍子及び高圧電線まで伸びて絡まり、つる草を通して地絡（漏電）し停電したものと推測されます。

〔復旧〕

お客さまから早急に復旧してほしいとのご要望がありましたが、支線及び電柱が山中にあり、その場所に到着するのが困難で、自前では絡んだつる草を伐採することができないと判断しました。お客さまにご了解をいただき、電気工事会社に連絡し伐採を依頼したところ、快諾を得ることができました。約40分後に電気工事会社が到着し、バケット車等を使用してつる草の伐採を行っていただきました。再度、絶縁抵抗測定を行い異常がないことを確認し、東北電力NWに連絡のうえ高圧気中開閉器を投入して、到着から約2時間30分後に復旧しました。



〔お客さまの声〕

「構内が広く架空線が山中を通っているため不良箇所の発見及び対処が困難であったと思います。電気工事会社との迅速な対応で早期に復旧していただき大変助かりました」と感謝の言葉をいただきました。

〔まとめ〕

今回の事例は、地面から伸びたつる草が支線を通して電柱の高圧回路に接触して地絡したものと推測される事例でした。事故対応については電気工事会社との協力、連携により迅速な対応をすることができました。お客さまに定期的につる草の除去をお願いするとともに、点検時にも樹木等の接触が無いか注意深く点検したいと思います。



支柱に絡み電柱まで伸びたつる草



枝が電柱に接触